

## ビットアイル “Cloud ISLE”ブランドで クラウドコンピューティングビジネスに本格参入 4つの自社データセンターをクラウド対応に進化

インターネットデータセンターのリーディングカンパニー、株式会社ビットアイル(代表取締役社長兼 CEO: 寺田航平 本社: 東京都港区 以下ビットアイル)は、「Cloud ISLE」のブランドで、クラウドコンピューティング活用のためのインフラストラクチャ、ソリューションおよび支援サービスにより、クラウドコンピューティングビジネスに本格参入いたします。第1弾として、2009年9月より、各種仮想化ツールの中から、自社のクラウド環境構築に最適なツールを検討・選択するための検証環境を提供するサービス「Cloud LAB(クラウド・ラボ)」をはじめ、仮想化ツールの導入・クラウド環境の構築を支援するサービス「クラウドインテグレーション」、クラウド環境の運用を支援するサービス「クラウド運用サービス」の提供を開始いたします。その後、順次サービスを拡大する予定です。「Cloud ISLE」により3年後10億円の売上を目標としております。

ビットアイルは、「Cloud ISLE」のサービス群により、自社の4つのデータセンターをクラウド対応 iDC へと進化させ、顧客企業にとって柔軟かつ耐障害性・可用性の高い IT インフラの構築、効果的な IT 投資や IT インフラ運用負担の軽減の実現に貢献していきます。

### ■「Cloud ISLE」のロゴマーク



### ■「Cloud ISLE」取り組みについて

昨年秋のサブプライム問題発生以降の景気低迷、企業業績の悪化に伴い、各企業における IT インフラへのニーズは、これまでの「所有」というスタンスから「利用」というスタンスへと変化し、更なるコア事業への集中と IT インフラのアウトソーシングが進展し、かつスピーディーなビジネス展開に対応するための柔軟なインフラ構築・運用が求められるなど、より高度にかつ多様化しています。また、コンピューティングパワーの有効な活用、運用負担の軽減、効果的な IT 投資など、経営課題の中で TCO 削減が極めて優先度の高いテーマになっています。

そのような中、仮想化技術の進歩、サーバをはじめとするハードウェアのパフォーマンスの向上、ネットワークの高速化により、「クラウド」によるITインフラの新たな展開が広がりつつあります。IT専門調査会社IDC Japan株式会社の調査では、日本国内のクラウドビジネスの市場規模は、2008年の494億円規模から2013年には1,521億円規模へ約3.1倍の拡大が見込まれるとの見通しを公表しています。

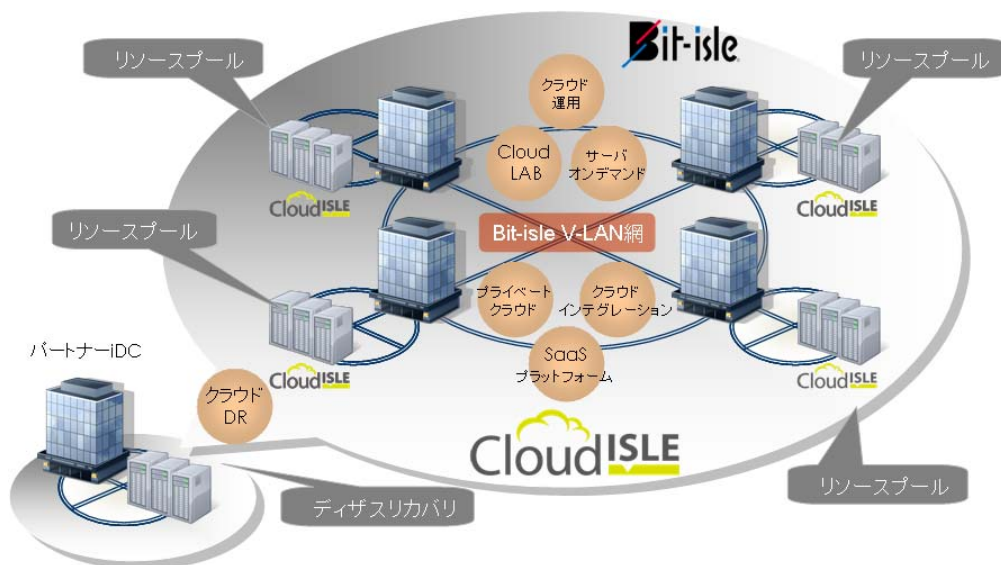
ビットアイルは、これまで天王洲地区に3箇所、本年2月に文京区に最新の第4データセンターをグランドオープンし、都心型インターネットデータセンターファシリティを建設・保有しております。ファシリティを自社所有しているという強みを生かし、これまでコロケーションサービスを中心に、ネットワークサービス・運用サービス・インテグレーションサービスなど柔軟なサービスを開発し、顧客企業(特に、インターネットサービスを展開する事業者)にITビジネスの基盤を提供してきました。

このような中、ビットアイルでは、従来のコロケーションを中心としたサービス提供に加え、「Cloud ISLE」を展開することにより、ビットアイルの4箇所のデータセンター全体を「クラウド対応iDC」として進化させ(※図1)、より広範囲・高度なITインフラニーズに応え、ITビジネス基盤をさらに強化させていきます(※図2)。

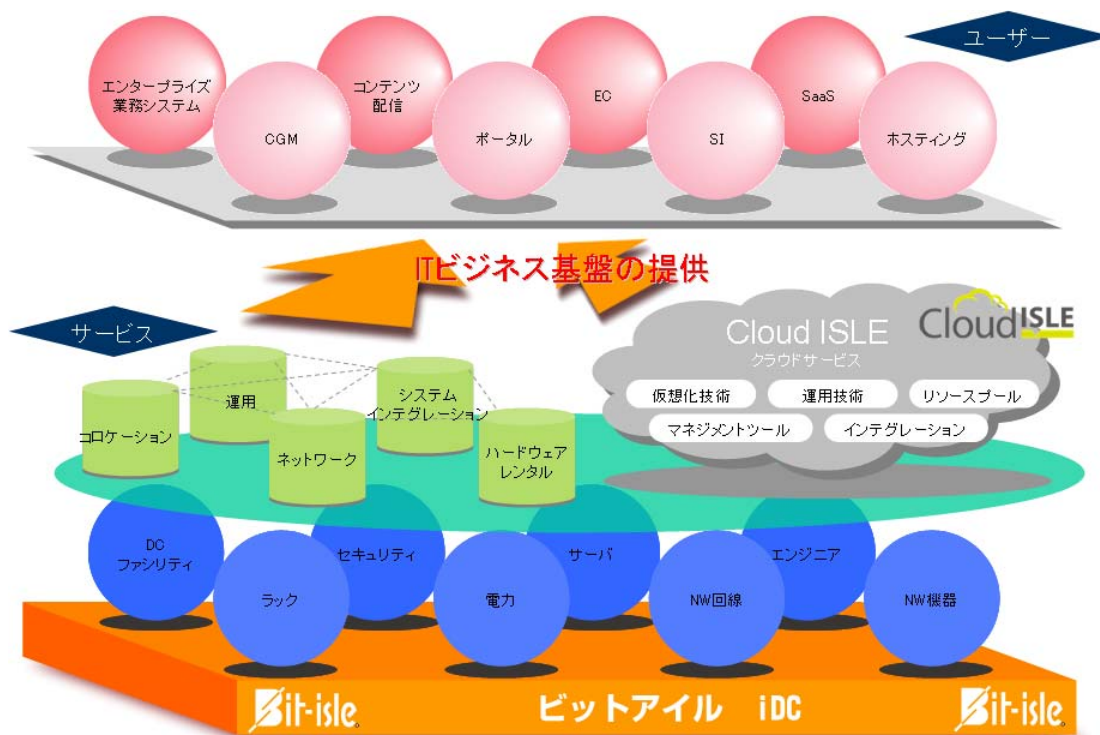
「Cloud ISLE」により、ビットアイルのデータセンターを利用するユーザー企業は、従来のコロケーションサービスに加え、企業のシステムや運用スタイル、予算に合わせ、仮想化ソリューションをベースとしたプライベートクラウド型のサービスを選択いただくことが可能となります。また、現在のシステムを維持しながら、アクセス数が短期的に大幅に増加するキャンペーン等のサーバリソースの需要に応じて、各センターでビットアイルが構築しているリソースプールからオンデマンドでサーバリソースを利用することが可能になります。これらのサービスにより、ユーザー企業は、利用中サーバラックの空きスペース状況や電力の余力、4つのデータセンターのロケーションを気にすることなく、必要なときにサーバリソースを利用することが可能となります。

将来的に、当社データセンター内であれば、データの移動や保管、配信経路の変更、データセンターレベルでの負荷分散等、利便性や拡張性が高く、対障害性や対災害にも強い新たなデータセンターサービスを提供し、様々な利用方法を順次提案してまいります。

【図1】クラウド対応 iDC



【図 2】IT ビジネス基盤の強化



■ 「Cloud ISLE」で提供するサービス群の概要(※図 3)

1. Cloud LAB(クラウド・ラボ)サービス【検証】
  - 主要な仮想化ソフトウェア上でのアプリケーション動作・パフォーマンス検証や障害対応などのシミュレーションを行うための環境を提供
  - クラウド型サービス展開を検討している事業者や仮想化技術を導入し、プライベートクラウド環境を構築したい企業向け
  - サービス開始:2009年9月
2. クラウドインテグレーションサービス【支援サービス】
  - 仮想化技術の導入やクラウド環境の構築を支援
  - 既存システムをクラウド環境へ移行する事業者や仮想化技術の活用によりシステムの集約を行う企業向け
  - サービス開始:2009年9月
3. クラウド運用サービス【支援サービス】
  - 仮想化技術を導入したITインフラおよびクラウド環境の運用(監視、障害対応・復旧)を支援
  - サービス開始:2009年9月

4. サーバオンデマンドサービス【リソース】
  - ビットアイルデータセンター利用ユーザー企業向けにビットアイルが構築するリソースプールよりサーバリソースをタイムリーかつ柔軟に提供
  - 現在のシステムを維持しながらアクセス数の増減への対応やキャンペーン等の短期利用をしたい事業者向け
  - サービス開始:2009年11月
  
5. プライベートクラウドサービス【リソース】
  - ビットアイルが用意するリソースプールの中に、完全の独立・専用化したプライベートクラウド環境を構築し、ホスティング提供
  - 仮想化環境運用のアウトソーシングと高いセキュリティレベルを要求する企業向け
  - サービス開始:2009年11月
  
6. SaaS プラットフォーム【ソリューション】
  - アプリケーションベンダー向けにオンデマンドサービス展開のためのプラットフォームを提供
  - アプリケーションベンダーとのアライアンスを推進
  - 「Cloud ISLE」各種のサービスを組み合わせて提供
  
7. クラウド DR サービス【ソリューション】
  - クラウドによる DR サイト構築環境を提供
  - 事業継続計画(BCP)に対応を行う企業向け
  - サービス開始:2010年2月

【図3】「Cloud ISLE」サービス群



以上



**【株式会社ビットアイル会社概要】**

株式会社ビットアイルは、①インターネットデータセンター(iDC)の運営等を行うiDC サービス、②ハードウェアからソフトウェアまでの運用サービス、監視サービス、セキュリティサービス、レンタルサービス等を提供するマネージドサービス、③システムインテグレーションサービス、エンジニアリングサービス等を提供するソリューションサービスという3つのサービスにより、顧客のニーズに合致したあらゆるIT サービスを、ワンストップ(顧客のストレスを最小化)で、可能な限り月額課金化(顧客が利用しやすいサービス形態)して提供する「総合ITアウトソーシング」事業を展開しています。

社名 : 株式会社ビットアイル(ヘラクレス:3811)(英文表記:Bit-isle Inc.)

所在地 : 東京都港区東新橋 1-9-2

設立 : 2000年6月

資本金 : 27億1,794万円(2009年7月現在)

代表者 : 代表取締役社長兼CEO 寺田 航平

URL : <http://www.bit-isle.jp/>

---

<本リリースに関するお問合せ先>

社長室

TEL:03-6252-3522

e-mail: [ir@bit-isle.co.jp](mailto:ir@bit-isle.co.jp)

<サービスに関するお問合せ先>

マーケティング本部サービス開発部

TEL :03-6252-3524